



カーペット系床仕上げ

床仕上げは建物の最終仕上げ

カーペットの起源は非常に古く、人類が狩猟生活を営んでいたころから存在していたとされています。日本における床仕上げ材としてのカーペットは当初、ホテル、裕福な邸宅など、限られたところでしか使用されませんでした。近年では、住宅はもちろん、学校、病院、店舗など、幅広い用途に供されています。

競技概要 競技時間 4時間30分(1日)

競技はカーペットを裁断、縫製し、平坦な部分(平場)と階段部分に敷き詰めていき、綺麗に仕上げ施工する作業です。糸と針を使った縫い合わせや、テープによる接合、特殊工具を使用するグリッパー工法など、多岐にわたる施工技能が必要です。



第31回 競技課題

Point

カーペットの縫い合わせ部分や、階段などの凹凸部分を綺麗に仕上げるのが非常に難しいところです。手縫い作業は、まさに職人芸といった練達の技能が必要です。手作業による技能の要素が多く、速さと正確さ、手元の器用さなどが求められ、技能者にとってはワザの見せどころです。

カーペットリマー



ニーキッカー

